

# 生活

## 小遣い通じ金銭教育



子どもにお金の概念を持たせ、 unnecessaryなものを買わないよう、小さい頃から金銭教育をすることが重要と言われている。不動産投資コンサルタントで、「こどもmirai」(名古屋市中区)代表理事の村田幸紀さんに、毎月の小遣いを通して金銭教育の方法を教えてもらった。

金融広報中央委員会(東京都中央区)の「子どもへの小遣い調査」(二〇一五年)によると、一カ月の小遣い平均額は小学生低学年が千四円、中学生が二千五百三十六円、高校生は五千百十四円だった。

小遣いには、一定期間に決まった額を渡す「定額制」、手伝いの対価として支払う「報酬制」、必要に応じて渡す「都度払い」の方法がある。経済的事情などで小遣いを

性が身に付くが、全て使い切る癖が付きやすい。報酬制は稼ぎ方を学べるが、お金がもらえないと動かないなど、一長一短があります」と指摘。村田さんが勧めるのが、これらの方法を組み合わせるやり方だ。まず月額定額制を基にした

「成功体験が大切」



「子どもの頃に身に付けた金銭感覚は大人になってからの行動や思考パターンに影響を与えます」と語る村田幸紀さん

## 対価示し我慢させる方法も

### 小遣いによる違い



	メリット	デメリット
定額制	計画性が身に付き、お金の使い方を学べる	全て使い切る癖が付きやすい
報酬制	お金の稼ぎ方やありがたみを学べる	お金がもらえないと動かない
都度払い	お金に縛られない発想や交渉力が身に付く	お金を管理する感覚が育たない
なし	根性、気力が身に付く	自己肯定感が低くなりがち

(村田幸紀さんへの取材を基に作成)

「倍返し」法。前月の残金をいったん預かり、その額の二倍を「ご褒美」として渡すやり方。例えば、毎月千円の小遣いの場合、一カ月間全く使わなければ、翌月は残金の二倍の二千円が上乗せされ、計三千円がもらえる。「倍返し」が習慣化できれば、家事手伝いなどをした場合に、五十、百円渡す報酬制「ありがと返し」も行つ。この二つの方法で、小学校低学年から、お金の「入り」と「出」を自分で管理させる方法を身に付けさせるとよい。

「自由に使える裁量を与えて、子どもに与えることが大事で、子どもが何に使っても、それに対する価値判断や賛否は言いません。大切なことは全て使わず、我慢させることです」

一方、前払いは絶対しない。「大人になってから、消費者金融からのキャッシング(借金)、ポナス・分割払いに抵抗がなくなりません。泣きわめかれても、我慢を教えるチャンスと捉えて拒みましよう」。一カ月間我慢できない場合は総額を変えずに期間を短くしたり、少しでもお金を残すように教えたりして、成功体験を積み重ねることが大切という。

「お小遣いは、初めてお金に触れる大事な機会。習慣は一生続くと考え、お金に振り回されないうちにも育てましよう」と村田さんは話している。

## ペットの救命学ぼう

福島医大大学院で学んだ防災の専門家山本大樹さん(四〇)が代表者となっているペットBLSトレーニングセンター(沖縄県西原町)は六月中旬、犬や猫の救命について学べるオンライン講座を開講する。受講

切な命を救うため企画した。専用のトレーニング器材(トイプードルの縫いぐるみ型)小型犬用、大型犬の胸部型、猫の縫いぐるみ型)を開発し、心肺蘇生法や人工呼吸などを学べるようにした。

BLSトレセン(沖縄) 山本代表 修了 講座



トレーニング器材。左からトイプードル型、猫型

攻修士課程を修了し、現在は琉球大の産学連携による民間研究機関・地区防災研究所の所長と、研究所内のペットBLSトレーニングセンターのセンター長を務めている。山本さんは「福島県で避難を経験した方の話を聞き、ペットの防災が必要と感じた。家族の一員と見られるペットの救命のため、受講料(器材の送料など込み)は一人ずつ受ける場合は一万三千八百円、二人の場合は一万八千円、三人は二万二千二百円、四人は二万六千四百円。受講料を専用サイト、Pet

近 年 間 耳 に 塊 の 人 に 高 齢 と 度 を 四 料 を する